



立憲民主党 酒井 なつみ

看護師、助産師、1児の母、区議2期、区長選で惜敗

市民と野党の共闘で まっとうな政治へ

「お母さんが明るく子育てできれば世の中はきっと明るくなる」——この言葉との出会いが、私を看護師から助産師の道へと導いてくれました。医療現場での12年間、「いのち」は当たり前前に生まれるわけではなく、流産・死産などの辛い現場も経験します。また、産婦人科は、女性の人生における健康課題に向き合う場です。だからこそ「女性の権利を守る仕事」「家族の幸せをつくる仕事」だと、自らが助産師であることに誇りを持つてきました。

そんな私が子宮頸がんを診断されたのは、28歳の時でした。当たり前だった明日が来ないかもしれない恐怖の中、私にできること、人生でやりたいことを自問自答するようになりました。その後、不妊治療も受けました。がんとの闘い同様に、仕事との両立や経済的負担が重く、終わりの見えない暗いトンネルに閉じ込められたような日々でした。

闘病や治療を乗り越えて母となった私は、32歳で政治の道へ進みます。そして、この数年の江東区では驚くばかりの不祥事が続き、国会議員の裏金問題では国民の政治不信が増大しています。ひとりの政治家として、とても悔しく無念の思いです。

昨年12月の江東区長選で落選したあと「私たちの挑戦は今後も続きます」と訴えました。その時に湧き上がった感情は「時間をかけてでも、きちんと国民の声に耳を傾ける政治に、一歩ずつみんなを変えていく」という新たな決意でした。

今回の挑戦は、私ひとりだけで挑むものではありません。今の汚れた政治を変えたいと思っっている皆さまと一緒に、この東京15区から「まっとうな政治」をつくりたいと覚悟です。

01 古い政治ときっぱり決別

●政治資金規正法をすぐに改正し、企業・団体献金と政治資金パーティーを禁止します。政治家本人への連座制を導入します。

02 「こどもまんなか」の子育て先進国へ

- 先進国で最低レベルの公的な子育て・教育関連予算を圧倒的に増やし、幼保から高等教育までと、給食費を無償化します。
- 教員の徹底した働き方改革と給与アップ、いじめ・不登校対策の充実、手厚い保育士配置基準を実現します。
- ひとり親支援の充実や子どもの健康課題への対策を進め、医療的ケア・発達障害のある子どもと保護者への支援を強化します。

03 がんばるあなたを独りにしない

- 福祉・介護・医療・健康・防災の充実など、みんなが安心して暮らせるベーシックサービスの拡充をはかります。
- ワークライフバランスを大切な価値観として、同一価値労働同一賃金の実現に全力をあげます。格差が広がる社会と決別します。
- 本人が望まない非正規雇用という働き方をなくし、最低賃金1,500円以上を目指します。



酒井菜摘プロフィール 1986年7月生まれ。看護師、助産師。がん手術、抗がん剤治療、不妊治療を乗り越えて出産。江東区議2期。昨年12月の江東区長選挙で次点惜敗。江東区塩浜在住。家族は、夫と娘(6歳)。趣味は、パン・お菓子づくりとヨガ。しし座・寅年・O型。

